施策・事務事業マネジメントシート【令和８年度】

【施策と関連するＳＤＧｓの目標（ゴール）】

１　施策の基本情報(Plan)

施策名		21　地域ゆかりの文化の保存と継承
目的	対象	市民、文化遺産
	意図	文化遺産や伝統を次世代に伝え、郷土への愛着をはぐくむ 文化遺産を保存し、学習素材やまちづくりに活用する
施策の方向		地域ゆかりの文化資源や歴史・文化遺産を保存・活用することにより、次の世代に継承し、ふるさと調布に対する愛着を育みます。

２－１　施策全体の考察①（施策の目的、方向に対する考察）

施策の目的、方向に対する考察（PDCAサイクルにおけるCheck・Action）
・郷土博物館では、市制施行７０周年記念事業として、まちの変遷を市民とともに振り返る展示事業や、庁内及び多様な主体と連携した取組を展開した。国史跡下布田遺跡整備事業においては、ガイダンス施設の整備やボランティア準備会の活動に継続して取り組んだ。 ・武者小路実篤記念館では、実篤研究の情報収集発信基地として、春・秋の特別展、移動展、学校連携事業、調査・研究事業などを実施し、魅力発信に取り組んだ。 ・図書館では、名誉市民水木しげる氏の作品の活用など、地域ゆかりの著名人の功績を生かした市の魅力発信を行うとともに、「映画のまち調布」の特色を生かした事業を展開した。 ・郷土博物館では、市制施行８０周年を見据え、これまで収集・蓄積した資料や情報の整理を進めるとともに、調査研究によってその価値を磨き上げ、展示等で活用することで、地域ゆかりの文化を次世代に継承する意識を多くの市民と共有していく。また、郷土博物館や国史跡下布田遺跡ガイダンス施設を拠点としたまちの活力の向上を図ることのほか、市内に点在する文化財等の魅力発信に取り組んでいく。 ・武者小路実篤記念館では、引き続き、魅力ある展示・普及事業を実施するとともに、収蔵資料に関するデジタルアーカイブの充実を図り、広く時代のニーズに合わせた情報を提供し、事業全般に活用していく。これら事業を通して、地域教育・文化の向上へ貢献するとともに、全国へ特色ある事業の魅力を発信する。 ・図書館では、引き続き、地域ゆかりの資料を収集・保存するとともに、各種テーマの展示等で活用する。

２－２　施策全体の考察②（まちづくり指標の推移／考察）

まちづくり指標	単位	基準値（基準年度）	実績値（目標年度）（令和5年度）	（令和6年度）	（令和7年度）	目標値	指標の推移	考察（目標達成の要因、課題、目標達成に向けた今後の取組の方向等）
文化遺産の数（国・東京都・市指定等文化財）	件	78 令和3年度	81	82	82	84 令和8年度	⇒	・文化財市指定の審議案件が次年度への継続審議となった。 ・令和８年度における指定予定案件が２件以上あるため、目標値は達成される見込み。
郷土博物館・実篤記念館の入館者数・事業参加者数（実篤公園利用者を含む）	人	4万1014 令和3年度	5万1985	5万123	6万1334	5万5000 令和8年度	◎	・周年事業の実施や様々な展示活動により目標を達成した。 ・文化会館たづくりでの展示活動の実施等により、引き続き目標達成を目指す。

※　◎：目標達成　○：目標値を未達成（前年度より向上した）　▼：目標値を未達成（前年度より低下した）　⇒：目標値を未達成（前年度と同じ又は前年度数値未把握）　－：数値未把握（調査未実施など）

３　施策を構成する基本計画事業等の取組実績／今後の方向

■21-1　文化財の保存及び活用

No	基本計画事業名	令和7年度取組実績(Check)	令和7年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
68	国史跡下布田遺跡 整備事業の推進	✔ 計画どおり □ 計画前倒し □ 計画遅れ	・ガイダンス施設の整備 ・史跡及びガイダンス施設内の展示空間の検討 ・史跡用地の買戻し（１年目） ・保存活用整備検討委員会の開催（３回） ・ボランティア準備会の開催（７回） ・学校教育連携事業の実施（１校）	□ 現状継続 ✔ 有効性改善 ✔ 効率性改善 □ 財政面改善 ✔ 参加と協働改善	・段階的に史跡及びガイダンス施設の整備工事を推進 ・史跡及びガイダンス施設内の展示内容の検討、整備 ・郷土博物館及びガイダンス施設の管理運営体制づくり、執務環境の確保・改善（２施設の管理運営を効果的、効率的に行うための管理運営体制及び執務環境の整備） ・プレハブ作業棟解体に伴う資料及び遺物保管倉庫の確保 ・史跡用地の買戻し（２年目） ・管理運営に関する方針、事業計画、体制、予算、例規等の検討 ・史跡の保全と活用の「担い手づくり（ボランティアの育成）」の推進（ボランティア養成の仕組みを整え実践段階に移行。地域の活力の向上に資する普及・啓発事業を展開） ・史跡を活用した学校連携事業の継続

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)
①調布市文化財保護審議会の調査審議に基づく文化財の指定・登録、郷土芸能の保存・継承 ②東京文化財ウィークへの参画による文化財の公開機会の拡大、講演会等の実施 ③国登録有形文化財真木家住宅の保存（樹木管理、室内清掃、屋根の修繕） ④調布市遺跡調査会の解散に伴う新たな埋蔵文化財調査の仕組みの導入 ⑤東京都建設局西部公園緑地事務所との連携による深大寺城跡看板設置 ⑥近藤勇生家跡整備事業の推進（防犯カメラの設置検討） ⑦下布田遺跡隣接地の整備に関する検討	①引き続き、文化財の指定・登録、郷土芸能の保存・継承を推進 ②引き続き、東京文化財ウィークへの参画による文化財の公開機会の拡大、講演会等の実施 ③国登録有形文化財真木家住宅の保存と活用に向けた取組（建物劣化調査に基づく維持保全、活用検討） ④埋蔵文化財専門員等の知識やノウハウの継承 ⑤深大寺城跡の「がけ・擁壁実態調査」に基づく対応 ⑥近藤勇生家跡整備事業の推進（井戸の安全対策工事、防犯カメラの設置） ⑦ルートサインの設置、下布田遺跡隣接地の整備、駐車場の確保に関する検討

■21-2　地域ゆかりの歴史・文化を生かした事業の展開

No	基本計画事業名	令和7年度取組実績(Check)	令和7年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
69	郷土の歴史・文化を核とした 博物館事業の推進	✔ 計画どおり □ 計画前倒し □ 計画遅れ	・企画展、移動展及び出張パネル展示、講演会の実施 ・市制施行７０周年記念事業の実施 ・収蔵資料データベースへの戦争関連資料の新規登録・公開 ・市公式ＹｏｕＴｕｂｅチャンネルやＳＮＳを活用した情報発信 ・学校教育の学習内容に即した展示や出前授業 ・失われるおそれのある郷土の歴史・文化の記録作成 ・博物館法の一部を改正する法律の趣旨を踏まえた郷土博物館の機能、役割、運営方針、収蔵資料の収集方針等の課題整理 ・登録博物館申請のため東京都に事前確認資料を提出	□ 現状継続 ✔ 有効性改善 □ 効率性改善 □ 財政面改善 □ 参加と協働改善	・博物館法の一部を改正する法律の趣旨を踏まえ、収集、保管、調査・研究、展示・普及を軸とした基本機能を発揮し、より一層の質の向上を図りながら、博物館に親しむ文化を形成していく。 ・これまで収集・蓄積した資料や情報の整理、調査研究によってその価値を磨き上げ、展示等で活用する。 ・調布市を特徴付ける歴史・文化の調査研究、記録保存し、価値や魅力を発信する。 ・博物館収蔵資料データベースの整備・公開を進める。 ・文化財や博物館資料を次世代に継承する大切さを多くの人々と共有しながら、博物館に親しむ文化を醸成していく（博物館活動を支援する市民サポーターの育成など）。 ・公共施設マネジメント計画に基づく博物館施設や収蔵庫等の在り方検討を進める。また、今後の郷土博物館の機能、役割、運営方針、収蔵資料の収集方針等についての課題整理を行う。博物館法に基づく東京都への登録博物館申請を進める。 ・学校教育の学習内容に即した展示や出前授業等、学校と連携した教育普及事業を継続する。

No	基本計画事業名	令和7年度取組実績(Check)	令和7年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
70	武者小路実篤を核とした特色ある事業の展開	☑ 計画どおり ☐ 計画前倒し ☐ 計画遅れ	・特別展（春、秋各１回）、企画展（年５回）の開催 ・開館４０周年記念事業としてのリレー展示や講演会等の実施 ・市立小・中学校、訪問型支援「みらい」及び学童クラブと連携した事業の実施 ・情報提供システム（映像視聴システム、収蔵品データベース、ホームページ、情報閲覧システムの総称）のリニューアル作業と一部見直しの検討 ・武者小路実篤記念館の収蔵庫空調設備修繕、設備等改修工事設計の実施 ・旧実篤邸の排水設備改修工事の実施	☐ 現状継続 ☑ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 財政面改善 ☐ 参加と協働改善	・引き続き、情報提供システムのリニューアルを推進する（収蔵品データベースは令和９年度、ホームページは令和１０年度稼働予定）。 ・展示活動（特別展、企画展など）を継続する。 ・博学連携事業における新たな教材の開発と場の提供、出張展示を実施する。 ・没後５０年（令和８年度）に向けた展示・普及事業を実施する。 ・経年劣化した武者小路実篤記念館の施設・設備の改修を行う。 ・旧実篤邸の現状調査を踏まえて今後の保存・管理に関する検討を行う。

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)
①郷土博物館における取組 ・深大寺水車館の観覧や体験活動による「文化観光」の取組 ・博物館展示照明の一部ＬＥＤ化 ②武者小路実篤記念館における取組 ・登録博物館申請に向けた課題整理 ・市制施行７０周年記念事業の実施 ・インスタグラムによる情報発信 ③図書館における取組 ・「水木しげる氏関連資料」の展示 ・「映画のまち調布　シネマフェスティバル２０２５」における展示会「出張！映画資料室－ロケ地でめぐる調布－」の実施	①郷土博物館における取組 ・深大寺水車館の観覧や体験活動による「文化観光」の取組 ・博物館展示照明の一部ＬＥＤ化 ②武者小路実篤記念館における取組 ・登録博物館申請に向けた必要要件を整備し、登録手続を進める。 ③図書館における取組 ・「水木しげる氏関連資料」の展示

４　施策の推進、成果向上の視点（４つの視点）を踏まえた令和７年度の取組実績及び令和８年度の具体的な取組

デジタル技術の活用	共創のまちづくり
（郷土博物館） ・収蔵資料データベースの整備・公開【令和７年度・８年度】 ・Chofu Peace Library（調布市平和デジタルアーカイブ）への戦争関連の収蔵資料の掲載【令和７年度・８年度】 ・市公式ＹｏｕＴｕｂｅを活用したコンテンツの配信【令和７年度・８年度】 ・ＳＮＳを活用した収蔵資料や事業の発信【令和７年度・８年度】 （武者小路実篤記念館） ・収蔵品データベースのリニューアルに向けた取組【令和７年度・８年度】 ・国文学研究資料館における近代文学者草稿デジタル化プロジェクトへの参画、「国書データベース」でのデータ公開【令和７年度・８年度】	（郷土博物館） ・市民ワークショップや多様な主体との連携による国史跡下布田遺跡を活用した地域の活力の向上【令和７年度・８年度】 ・国史跡下布田遺跡を活用した近隣小学校における総合学習への協力【令和７年度・８年度】 （武者小路実篤記念館） ・市内学童クラブによる実篤記念館利用プロジェクトの実施【令和７年度・８年度】 ・学校やクラブ活動との連携による場の提供とプログラムづくり【令和７年度・８年度】
脱炭素社会の実現	**フェーズフリー**
（郷土博物館） ・国史跡下布田遺跡におけるヤギ除草（試行実施）の継続【令和７年度・８年度】 （武者小路実篤記念館） ・休憩コーナーの温度上昇を抑えるためのゴーヤカーテンの設置【令和７年度・８年度】	（郷土博物館） ・非常時の電源として活用可能な電気自動車の導入【令和７年度】 ・フェーズフリーの視点も踏まえた史跡整備事業の推進、開園後の事業の検討【令和７年度・８年度】 （武者小路実篤記念館） ・フェーズフリーの視点を踏まえた施設管理と収蔵品の保存方法の検討【令和７年度・８年度】 ・収蔵資料のデジタルアーカイブ化の推進【令和７年度・８年度】